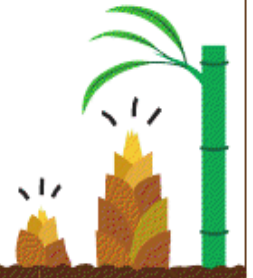




たけのこ



H30.5.18 発行



新任教員

かみや さとし

紙谷 智 先生

今年度から本郷キャンパスの一般教養科に着任された紙谷先生にインタビューをしました。紙谷先生のこれまでと信念について語っていただきました。話し方も雰囲気もやさしい先生でした。

Q.1 高専の印象はどうか？

A.1 私は中学校や高校での教師生活が長かったので、校舎の大きさや設備が充実しているところなどが恵まれていると思いましたね。また、学生の雰囲気も中学や高校と比べて自由なところも印象的です。高等専門学校らしく、社会との距離が近いとも強く感じました。

中学校での教師歴が長く、中学の次の学年なので、いざ来てみると中学とも高校とも雰囲気が全然違うので、やはり高専は違う所なのだなと思いました。

Q.2 経歴、研究分野について教えてください。

A.2 魚津生まれの魚津育ちで、小学校から高校まで、スポーツ少年団に所属していて、躰道(たいどう)という武道をしていました。魚津を出て青山学院大学に入学、卒業したのち、一般企業に就職しました。その後、小学校で1年間、中学校で19年間、高校で3年間、計22年間教師をしました。そして40歳になるころにやりたいことをやろうと研究するために大学院に入ったんです。大学院では認知科学をしていました。私は中でも学習に関する、「日本人がどうやって英語を理解しているのか」ということについて研究していました。

Q.3 学生へのメッセージをお願いします。

A.3 学生の皆さんには、自由と責任ということを考えてうえで精一杯やりたいことをやる5年間を過ごしてほしいと思っています。いい意味でも悪い意味でも、自分のやったことは必ず自分に返ってきます。だからプラスのことをしていれば、絶対プラスのことが自分に返ってきますし、逆もまた然りです。これは世の中の常なので。そこをわきまえたような大人になってほしいです。